



ローカル線活性化シンポジウム開催

5月31日、仙台地本事務所において、「ローカル線活性化シンポジウム」を開催しました。シンポジウムには陸羽東線の維持・活性化に向けて活動を開始した市民団体の皆さんにも参加をしていただき、今後のローカル線の維持・活性化に向けたたかひに向けて意思統一を図りました。

「あ・ら・伊達な道の駅」開設者でもある宮城県議の佐藤仁一氏から「地域交通と地域経済について（ローカル線とまちづくり）」のご講演をいただき、鉄道は町のシンボル。鉄道がなくなると町が衰退し人がいなくなる。ただ、鉄道を残せだけではいけない。地方ローカル線と地域活性化、町づくりの観点から考えていかなければならない。労働組合としてJR東日本会社に対して、様々なアイデアと提案をし声を上げ続け頑張っって欲しいと激励をいただきました。



また、仙台地本ローカル線プロジェクトおよび盛岡地本の活動の取り組みについて報告と問題提起を受けました。

今後も市民団体や関係する議員のみなさんと連帯をつくり出し、地方ローカル線の活性化と地域の未来を創造するために活動していくことを確認しました。

雇用と生活を守り、地域との連帯を強化・拡大し、地域活性化を支える未来の鉄道を創造するために行動しよう！

